



かたピー日記1 ～手芸編～

編集：松田・岩崎

昨年に皆様からの投票やご支援があって10月10日に誕生した「かたピー」。
かたぎはらのマスコットキャラクターとして11月3日のふれあいまつりではお披露目
も行われました。
でも…これからどうやって知ってもらおう…

そうだ、マスコットキャラクターなんだからマスコットを作ろう！！

まずは手慣らしに、フェルトでワッペンを作ってみることにしました。



まずは型を切り抜き



パーツを切って



たすきに刺繍し



合わせて



柿と足をつけて完成！

「できた～」と思って、小規模のご利用者さんに見てもらったら、
「かわいいけど…なんかおじさんみたい(笑)」と。
たしかに…ヒゲみたい。
「どうしたらいいですかね？」と聞くと「このヒモが太すぎるんじ
ゃない？細くしてみたらどう？」と言われ、改良したのがこちら。





「これでどうですかね？」と後日見せに行くと「あ～、良くなった。いいんじゃない・？」と合格点を頂きました。

原画と並べてみましたが、まあまあな出来のような気がします。

この要領でマスコットを作ってみたのがこちら。



中に綿を入れるとやっぱり立体的になりますね。
紐をつけてどこかにぶら下げられるように、たすきは脱着可能にしました。

これでいつでもどこでもかたピーと一緒に♪



クリスマスには、ふれあいまつりの時に応援に駆けつけてくれた月橋渡くんと一緒にツリーを彩ってくれました。

ちなみに渡くんのかぶっている帽子はグループホームの入居者さんの手作りです。
よく似合っていますね。

この要領で、次はぬいぐるみを作ろう！

これまでにもう何度もかたピーを描いていたので手が覚えてしまい、ここからは型も使わずに感覚で作ってしまいました…



頭から…



お顔…



綿を入れてふっくら



お体…



しっぽ…



足…



柿…



たすき…



縫い合わせて…



綿を詰めたら…



完成～！！



ロボ隊長と玄関に

そして…綿を詰める前の姿を見てひらめいたので、また作りました。



パペットです



親子とも作りました



地域への情報発信で活躍中！！

ここで・・・かたピー誕生秘話をご紹介します♪



「かたぎはら」は平成31年3月31日に開設しましたが、新しい施設というのは何をやっている所なのか周りにご理解いただくのに時間がかかるもので、知って頂く取り組みをと思っていた矢先に新型コロナの影響もあり、地域に出るという事も難しくなりました。

でも、何か親しみを持ってもらえるようマスコットキャラクターが作れたらいいかも・・・とオープニングメンバーで話していた時期があり、「かたぎはら」という名称から最終的に「かたピー」という名前を妄想していました。名前だけ浮かんだものの、何のイメージにするかは決まっておらず、西京区が柿の名産地ということや認知症支援のシンボルカラーの由来が柿であるため柿キャラにしようか・・・など、話は尽きず。でも、コロナ自粛等もあり、その後は話をするタイミングも逃したままでした。

しかし、昨年に入って転機が現れました。

4月に施設長が交代となり、着任された柿迫施設長と職員の間でゆるキャラの話になったようで、封印していた「かたピー」の話をされたところ「いいんちゃう？」と言われ・・・。これがまた何のご縁か、施設長の名前に「柿」がついています。これはもうやるしかない。

そこから・・・みんなで決めていこうと複数デザインを募り、玄関に投票箱を設置して地域の方も含めてたくさんの人に投票してもらうことになりました。結果、決まったものの今後立体的にしたり違うポーズを使ったりすることも想定されるのですが、そのデザインを作った方をお願いするのは負担をかけてしまうため、独自データとして作ることにしました。そこで原画を「お母さん」とし、かたピーはいろんな人とつながりが持てるよう、たすきをかけているデザインにしたり色々なキャラ設定をしています。試行錯誤の末「かたぎはらから芽が出るように・・・」芽（目）の日で10月10日に合わせて誕生しました。



かたピーママ

今後も「かたピー」が愛されるよう、地域に根ざした「かたぎはら」であり続けたいと職員一同精進していきたいと思えます。

今後ともよろしく願いいたします。



かたピー

次は第2弾～料理編～ですよ お楽しみに！